（様式４）

重要取組シート

教育委員会事務局
教育センター　　能力開発課

取組項目	学力向上の推進
現状・課題	【現状】 〇本市では、学力を総合的な学力（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等、③学びに向かう力・人間性等）として捉え、その向上をめざしている。総合的な学力は、学習指導要領等をふまえ、子どもたちの学力を資質・能力で整理した。 ➢ 全国学力・学習状況調査において全国平均を 100 とした場合、国語、算数・数学を合わせた正答率の割合を指標としており、令和７年度に小学校６年生で 103、中学校３年生で 100 と設定している。令和４年度は、小学校６年生は 99.4、中学校３年生は 98.0 である。 ➢ 全国学力・学習状況調査の正答率が 40%未満の児童生徒の割合は、全国平均を 100 とした場合、令和４年度は小学校６年生の国語は 104.7、算数は 103.9、中学校３年生の国語は 134.3、数学は 105.3 である。 【課題】 ➢ 総合的な学力の一つの指標として全国学力・学習状況調査をもとに測定をしているが、令和４年度は、小中学校ともに全国を下回っている。 ➢ 全国学力・学習調査における学力低位層（正答率が 40%未満の児童生徒）を全国と比較すると、割合が高い。 ➢ 総合的な学力のうち、非認知能力については、効果的な育成方法等を含め十分な研究がなされていない。 ※認知能力＝①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等 非認知能力＝②思考力・判断力・表現力等、③学びに向かう力・人間性等
取組の内容	〇個々の子どもたちの総合的な学力の向上に向け、日々の教育活動で培われる教員の指導力の向上を図り、EBPM（証拠に基づく政策立案）の観点をふまえたデータ活用の仕組みを構築する。令和５年度は昨年度明らかにした各種研究の効果的な取組を周知実践することで、教員の知識・経験に基づく指導力をより確かなものにし、客観的な各種調査等のデータを活用した取組を行う。 全ての小中学校を対象とした取組について 〇総合的な学力の向上に向けて、市教委、学校管理職、担任等それぞれの立場に応じた検証改善サイクルに基づいて取り組む。 ➢ 全国学力・学習状況調査、大阪府小学生すくすくウォッチ、大阪府中学生チャレンジテスト、堺市児童生徒学習・生活状況調査（CBT：コンピュータを使った試験方式）の結果と関連させた総合学力プロフィール等の各種データを活用し、市教委は市全体の学力分析・効果的な取組を発信する。 ➢ 各種調査結果をもとに分析支援ツールを活用して検証改善分析シート作成し、各学校は、自校の学力分析・効果的な取組の検討を実施する。 ➢ 各種調査の個人票を活用し、各学校は、個人懇談等での児童生徒の長所や短所の共有を行い、個々の児童生徒への総合的な学力向上に向けた働きかけを行う。 ➢ 特に、個別最適な指導・学びにつなげるため、個人票を活用した教員と児童生徒との共通理解を図る仕組みの構築と取組を強化する。 ➢ 各学校における令和４年度の取組内容と令和５年度の調査結果をふまえた学力低位層、読解力、非認知能力の分析・取組を発信し、各学校で実施する。

（様式４）

<table>
<tr><td colspan="3">➢ 個々の子どもの学力の伸びの把握と効果的な取組の実践に向けて、IRT（項目反応理論の手法）を活用した堺市学力状況調査を小学校 4 年生、中学校 1 年生で実施する。
➢ 基礎学力向上に向けて、学習支援コンテンツの実施検証を行う。
モデル校等を対象とした取組について
〇総合的な学力の向上に向けて、以下の２つに取り組む。
➢ 〈RST（読解力調査）〉
「理解し、活用し、熟考する読解力」の向上に向けて、モデル校３校において RST の実施及び分析を行う。特に個々の子どもの読解力の伸びに着目した分析を行い、子どもの学び方に関する内容を発信し、各学校で実施する。
➢ 〈非認知能力育成〉
総合的な学力向上にかかわる非認知能力の育成に関して、総合学力プロフィールをもとにして非認知能力を伸ばしている学校取組を発信し、各学校で実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>全ての小中学校を対象とした取組</td><td>モデル校を対象とした取組</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スケジュール</td><td>前期
（～7 月）</td><td>□（4 月）全国学力・学習状況調査（小 6、中 3）実施
□（4 月）大阪府小学生すくすくウォッチ（小 5、小 6）実施
□（5 月）IRT を活用した学力調査（小 4、中 1）実施
□（5 月～3 月）学習支援コンテンツの実施
□（6 月）堺市学習・生活状況調査（小 3～中 3）実施　※CBT 方式
□（7 月）全国学力・学習状況調査結果返却及び分析
□（7 月）大阪府小学生すくすくウォッチ結果返却及び分析
□（7 月～3 月）小中学校は各種学力調査等返却ごとに、自校の学力分析を実施し、検証改善分析シートを作成・更新
□（7 月～3 月）小中学校で自校の学力分析に基づいた取組の実施。</td><td>【RST】
□（4 月）モデル校で令和 4 年度の取組を継続実施
□（6 月～7 月）モデル校（小 6、中 1、中 2、中 3）で調査実施
□（6 月～10 月）調査結果に基づいた分析、実践のヒアリング実施・取組の発信

【非認知能力育成】
□（4 月～7 月）令和 4 年度の結果のヒアリング内容をもとに実践のまとめを市教委が作成・発信、各学校で実施する。</td></tr>
<tr><td>中期
（～11 月）</td><td>□（8 月）総合的な学力向上に関する研修会実施
□（9 月）IRT 調査の結果返却及び分析
□（9 月）学習支援コンテンツの実施取りまとめ、成果分析
□（9 月）大阪府中学生チャレンジテスト（中 3）の実施
□（10 月）大阪府中学生チャレンジテスト（中 3）の結果返却及び分析
□（11 月）総合学力プロフィール（学年・学級・個人）と個人票を小中学校へ提供</td><td>【RST】
□（8 月～9 月）読解力 6 項目と各種学力等調査の相関について分析
□（10 月～3 月）分析に基づいた精度の高い取組を各学校で実施

【非認知能力育成】
□（11 月～3 月）総合学力プロフィールをもとに、同一集団で伸びの見られた学校の取組のヒアリングを行い、実践をまとめて発信</td></tr>
</table>

（様式４）

		□（11 月）小中学校は総合学力プロフィール（学年・学級・個人）の分析、検証改善分析シートの更新	
	後期 （～3 月）	□（12 月）個人懇談時等に、小中学校は総合学力プロフィール（個人）や個人票を活用 □（1 月）大阪府中学生チャレンジテスト（中 1、2）の実施 □（2 月）大阪府中学生チャレンジテスト（中 1、2）の結果返却及び分析・取組の発信	□※中期の３月までの取組を実施
	次年度 以降	□取組の継続 □データの一元管理の制度設計	【RST】 □モデル校で調査を実施し、個々の子どもの伸びの見られた取組を共有・実践 【非認知能力育成】 □ヒアリングによる取組を共有・実践
進捗の状況	前期 （～7 月）	□全国学力・学習状況調査（小 6、中 3）実施（4 月） □大阪府小学生すくすくウォッチ（小 5、小 6）実施（4 月） □IRT を活用した学力調査（小 4、中 1）実施（5 月） □学習支援コンテンツの実施（5 月～） □堺市学習・生活状況調査（小 3～中 3）実施　※CBT 方式（6 月） □全国学力・学習状況調査結果返却及び分析（7 月） □大阪府小学生すくすくウォッチ結果返却及び分析（7 月） □小中学校は各種学力調査等返却ごとに、自校の学力分析を実施し、検証改善分析シートを作成・更新（7 月～） □小中学校で自校の学力分析に基づいた取組の実施。（7 月～）	【RST】 □モデル校で令和 4 年度の取組を継続実施（4 月）
	中期 （～11 月）	□総合的な学力向上に関する研修会実施（8 月） □IRT 調査の結果返却及び分析（9 月） □学習支援コンテンツの実施取りまとめ、成果分析（9 月） □大阪府中学生チャレンジテスト（中 3）の実施（9 月） □大阪府中学生チャレンジテスト（中 3）の結果返却及び分析（10 月）	【RST】 □読解力 6 項目と各種学力等調査の相関について分析（8 月～9 月） 【非認知能力育成】 □令和 4 年度の結果のヒアリング内容をもとに実践のまとめを市教委が作成・発信、各学校で実施する。（9 月～）

（様式４）

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td>後期
（～3 月）</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">堺市基本計画2025</td><td>該当する施策</td><td colspan="3">3－（2）　子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進</td></tr>
<tr><td>寄与するKPI</td><td colspan="2">学力調査の堺市の平均値（全国を 100 とした場合）
［現状値　小6　100.5　中3　95.8（2019年度）］</td><td>目標値（2025 年度）
小６　103.0
中３　100.0</td></tr>
<tr><td rowspan="2">堺市SDGs未来都市計画</td><td>最も貢献するSDGsのゴール</td><td>ゴール番号
4</td><td colspan="2">質の高い教育をみんなに</td></tr>
<tr><td>寄与するKPI</td><td colspan="2">学力調査の堺市の平均値（全国を 100 とした場合）
［現状値　小６　100.5　中３　95.8（2019 年度）］</td><td>目標値（2023 年度）
小６　102.0
中３　98.0</td></tr>
</table>